

# 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和5年2月分：速報)



## <対世界>

- 輸出総額: 8,036 億円(伸率: +8.2%) ⇒ 10か月連続のプラス
  - ・順位: 16位、2月としては1位
  - 【順位は、昭和54(1979)年1月以降(530か月、2月は45か月)による。以下同じ。】
  - ・増加品目: 自動車(同+12.3%)、半導体等電子部品(同+28.4%)
- 輸入総額: 8,367 億円(伸率: +22.2%) ⇒ 25か月連続のプラス
  - ・順位: 14位、2月としては1位
  - ・増加品目: 石炭(同+63.6%)、半導体等電子部品(同+86.4%)
- 差引額: ▲331 億円 ⇒ 11か月連続の輸入超過
  - ・順位: 353位、2月としては32位
  - 為替レート: 2023年2月: 130.38円/ドル(2022年2月: 114.84円/ドルと比べ13.5%の円安)

## <品目別動向>

### ○輸出

自動車(1,734億円→1,948億円、伸率: +12.3%)は、EU(62億円→267億円、同4.3倍)及び台湾(92億円→198億円、同2.2倍)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

また、半導体等電子部品(699億円→898億円、同+28.4%)は、韓国(219億円→367億円、同+67.8%)及びベトナム(121億円→159億円、同+30.7%)向けが増加し、13か月連続のプラスとなった。

一方、プラスチック(337億円→283億円、同▲16.2%)は、韓国(85億円→53億円、同▲38.3%)及び中国(139億円→114億円、同▲17.9%)向けが減少し、8か月連続のマイナスとなった。

### ○輸入

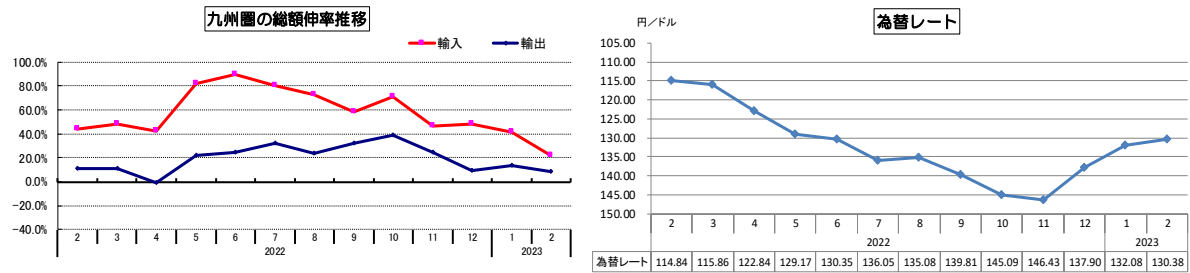
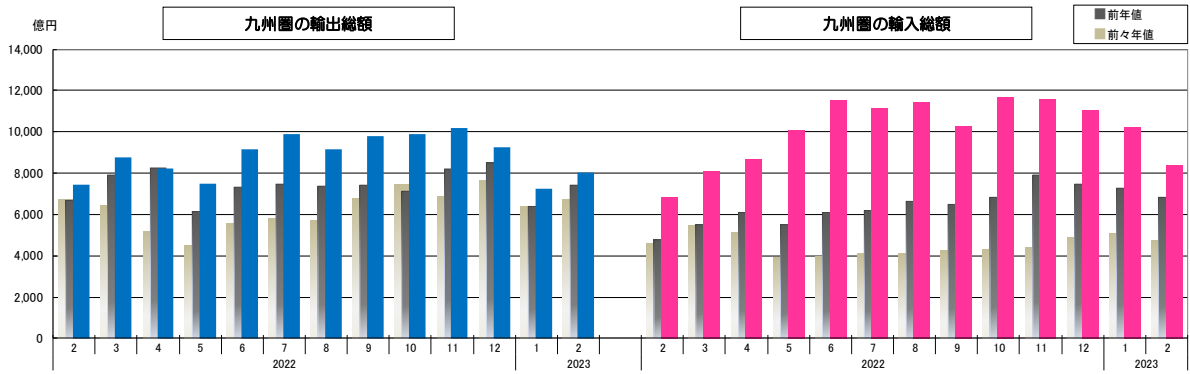
石炭(391万MT→354万MT、伸率: ▲9.4%、971億円→1,588億円、同+63.6%)は、数量が減少したものの、価額は増加し、21か月連続のプラスとなった。

また、半導体等電子部品(303億円→566億円、同+86.4%)は、台湾(226億円→444億円、同+96.6%)及び中国(52億円→72億円、同+40.0%)からが増加し、24か月連続のプラスとなった。

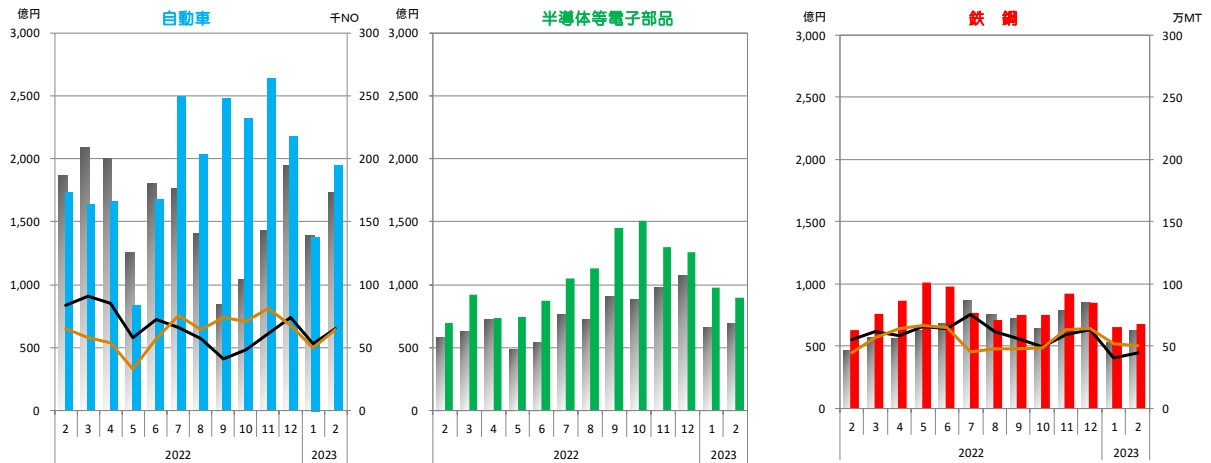
一方、金属鉱及びくず(675億円→599億円、同▲11.3%)は、鉄鉱石(330億円→202億円、同▲38.9%)が減少し、5か月ぶりのマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

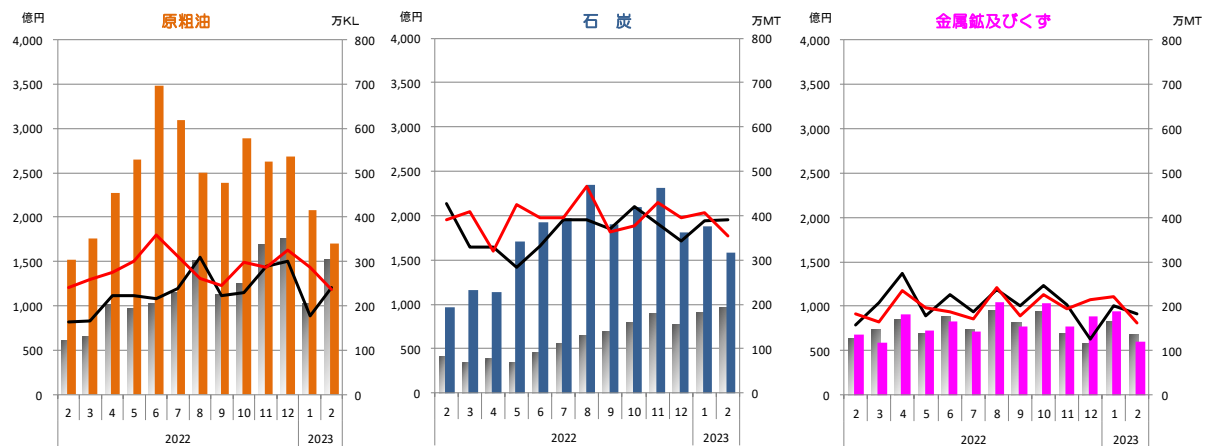
# 令和5年2月分：速報



## 九州圏の輸出主要品目推移



## 九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。